

*2023年1月改訂

解熱鎮痛薬

生薬
(シャクヤクエキス)配合
頭痛、熱に

ハッキリエースa

販売名:ハッキリエース a

第②類医薬品

服用に際して、この添付文書を必ずお読みください。また必要に応じて読むよう大切に保管してください。使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

製品特徴

- 生薬鎮痛成分(シャクヤクエキス)を配合した頭痛薬です
- 胃粘膜保護成分を配合した胃にやさしい頭痛薬です
- 早く溶けるさわやかな緑の顆粒です
- 非アスピリン製剤です
- 眠くなる成分は配合していません

△ 使用上の注意

× してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと
(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
3. 服用前後は飲酒しないこと
4. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人 (4) 高齢者
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人 (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
(3) 水痘(水ぼうそう)もしくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満) 腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 服用後、右記の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精 神 神 経 系	めまい
そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する
* 薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄だん(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる

3. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛 ●悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

次の量を1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて水又はお湯で服用し、服用間隔は4時間以上おいてください

年 齢	1 回 量	1日服用回数
大人(15才以上)	1包	3回まで
11才以上15才未満	2/3包	
11才未満	×	服用しないこと

(用法・用量に関連する注意)

- (1) 定められた用法・用量を厳守すること
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること
- (3) 11才未満の小児には服用させないこと

成分・分量

1日量(3包:2352mg)中

有効成分	分 量	はたらき
アセトアミノフェン	690mg	鎮痛、解熱作用
エテンザミド	690mg	鎮痛、解熱作用
カフェイン水和物	225mg	鎮痛補助作用
シャクヤクエキス(原生薬換算量600mg)	150mg	鎮痛作用
メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	450mg	胃粘膜保護作用

添加物として、カンゾウエキス末、l-メントール、乳糖、銅クロロフィリンNa、CMC-Ca、ヒドロキシプロピルセルロースを含有する

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること
- (3) 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)
- (4) 1包を分割して服用する場合、残った薬剤は袋の口を折り返して保管すること。また、保管した残りの薬剤は、その日のうちに服用するか捨てること

製品のお問合せは、お買い求めのお店又はお客様相談室にお願いいたします

発売元 小林製薬株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10

小林製薬 お客様相談室
0120-5884-01
9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

製造販売元
小林製薬株式会社
〒567-0057 大阪府茨木市豊川1-30-3

MADE IN JAPAN
10204313